

3月議会

有田

2016 No.38 平成28年5月15日発行

議会だより



ご入学
おめでとうございます!

みんなが君たちの
成長を見守っています。



▲晴天に恵まれたこの日、町内小学校では179人の新1年生が誕生しました。(4月11日)
～写真は有田小学校入学式にて記念撮影にのぞむ笑顔いっぱいの新1年生14人と保護者の皆さん～



日本磁器誕生・有田焼創業400年
The Birth of Japanese Porcelain: Arita Ceramics 400th Anniversary

有田町では2016年は有田焼創業400年です。

新町合併十周年。新たな気持ちでスタート!!

平成28年度一般会計予算 3p
97億4,500万円を可決

町政 ここが知りたい 9p~20p
一般質問 12人が町政を問う

有田焼創業400年事業 21p~22p

3月の定例議会

平成28年3月議会は3月7日から18日までの12日間の会期で開催されました。
本年度一般会計補正予算案など30議案が上程されました。

平成27年度 一般会計予算107億5,031万円に 1,367万円を補正

地域創生加速化対策費（有田版DMO構築事業、有田・波佐見連携事業）、年金生活者等支援臨時福祉給付金事業、子どものための教育・保育事業を新たに追加

(単位：万円)

事業名	内容	金額
有田版DMO構築事業	観光を軸に連携する産業活性化事業費補助	7,123
有田・波佐見連携事業	「伝統とモダン、有田・波佐見物語り」事業費補助	800
年金生活者等支援臨時福祉給付金事業	臨時福祉給付金等	9,600
子どものための教育・保育事業	幼児教育無償化システム改修委託料	95
障害福祉サービス事業	介護及び訓練等給付費等	2,649
有田小学校改築事業	町有林木材加工委託料等	1,174

特別会計・企業会計補正

○特別会計	国民健康保険特別会計	△72,971千円	国庫負担金等の減
	後期高齢者医療特別会計	13,627千円	繰出金等
	介護保険特別会計	△85,609千円	介護給付費等の減
	黒牟田宅地分譲事業特別会計	5,890千円	一般会計繰出金等
	有田南部工業団地造成事業特別会計		予算組み替えにより歳入歳出の増減なし
○企業会計	公共下水道事業会計	16千円	収益的支出(総係費)
		△52,200千円	資本的収入(補助金・企業債)
		△53,477千円	資本的支出(施設建設費基金積立金)
	浄化槽整備推進事業会計	1,911千円	収益的支出(修繕費等)
	農業集落排水事業会計	104千円	収益的支出(負担金)
	水道事業会計	458千円	収益的収入(負担金等)
		19,639千円	収益的支出(漏水修理費・減価償却費等)

平成28年度 一般会計予算 97億4,500万円を可決

平成28年3月議会が3月7日に招集され、18日までの12日間の会期で開催されました。

冒頭、町長から今後の町づくりの方針が発表されました。

平成28年度一般会計予算は、新年度の通年予算であり、昨年に引き続き枠配分方式を取り入れ、限られた予算を効率的効果的に活用する編成となっています。

平成28年度の主要事業と予算

○総務費・合併振興基金事業 ……2億51万円

(財源：合併特例債1億9,000万円、財産収入51万円)

合併特例債を活用した基金の造成事業。基金の利子を活用し、町民の連携強化などソフト事業の財源に充てる。

・情報一般管理事業 ……9,043万円

・ふるさと納税推進事業 ……6億1,967万円

(財源：寄付金4億円、繰入金2億1,962万円、財産収入58万円)

ふるさと応援基金、有田焼創業400年祭基金への積立、寄付者謝礼等。

○衛生費・感染症対策事業 ……5,339万円

集団予防接種委託料、小児個別予防接種、高齢者定期予防接種（インフルエンザ、肺炎球菌）などの感染症対策を推進する。

・佐賀県西部広域環境組合事業 ……1億869万円

県西部地区4市5町で構成する一部事務組合で、平成27年度から塵芥共同処理を開始（平等・人口割負担）

○商工費・有田焼創業400年事業 ……1億7,115万円（財源：繰入金1億7,115万円）

町実行委員会負担金 1億6,105万円（広告宣伝費、主催事業費、協賛事業ほか）

県実行委員会負担金 487万円

・有田国際陶磁展実施事業 ……400万円

町の予算規模の推移（3カ年）

有田町全体での予算規模をみると、平成28年度の一般会計は前年度比10.9%増の97億4,500万円。

特別会計は0.2%減の58億3,822万円、企業会計は1.6%増の19億7,199万円となり、総額では5.9%増の175億5,521万円となっています。

	一般会計	特別会計(※1)	企業会計(※2)	総額	対前年度比
H26	78億3500万円	54億8483万円	22億3800万円	155億5783万円	△0.3%
H27	87億9000万円	58億4947万円	19億4049万円	165億7996万円	6.6%
H28	97億4500万円	58億3822万円	19億7199万円	175億5521万円	5.9%

(※1) 特別会計…国保、介護、後期高齢者医療、黒牟田宅地分譲事業、有田南部工業団地造成事業

(※2) 収益勘定及び資本勘定の歳出額の合計。水道事業、浄化槽整備推進事業、公共下水道事業、農業集落排水事業

平成28年度3月 第8回定例会における議案審議結果

議案順位	提 出 議 案	採決の結果
1	有田町教育委員会委員の任命について	賛成全員
2	行政不服審査法及び行政不服審査法施行令の施行に伴う関係条例を整備する条例について	賛成全員
3	有田町課設置条例の一部を改正する条例について	賛成全員
4	有田町印鑑条例の一部を改正する条例について	賛成全員
5	有田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について (人事院勧告)	賛成全員
6	有田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について (地方公務員法等)	賛成全員
7	有田町介護保険条例の一部を改正する条例について	賛成全員
8	行政不服審査法第81条第1項の機関に関する事務の委託に係る協議について	賛成全員
9	指定管理者の指定について	賛成全員
10	平成27年度一般会計補正予算(第7号)について	賛成全員
11	平成27年度有田町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	賛成全員
12	平成27年度有田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)について	賛成全員
13	平成27年度有田町介護保険特別会計補正予算(第4号)について	賛成全員
14	平成27年度有田町黒牟田宅地分譲事業特別会計補正予算(第1号)について	賛成全員
15	平成27年度有田南部工業団地造成事業特別会計補正予算(第3号)について	賛成全員

議案順位	提 出 議 案	採決の結果
16	平成27年度有田町公共下水道事業会計補正予算（第4号）について	賛成全員
17	平成27年度有田町農業集落排水事業会計補正予算（第5号）について	賛成全員
18	平成27年度有田町浄化槽整備推進事業会計補正予算（第3号）について	賛成全員
19	平成27年度有田町水道事業会計補正予算（第4号）について	賛成全員
20	平成28年度有田町一般会計予算について	賛成多数
21	平成28年度有田町国民健康保険特別会計予算について	賛成全員
22	平成28年度有田町後期高齢者医療特別会計予算について	賛成全員
23	平成28年度有田町介護保険特別会計予算について	賛成全員
24	平成28年度有田町黒牟田宅地分譲事業特別会計予算について	賛成全員
25	平成28年度有田南部工業団地造成事業特別会計予算について	賛成全員
26	平成28年度有田町公共下水道事業会計予算について	賛成全員
27	平成28年度有田町農業集落排水事業会計予算について	賛成全員
28	平成28年度有田町浄化槽整備推進事業会計予算について	賛成全員
29	平成28年度有田町水道事業会計予算について	賛成全員
30	有田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	賛成全員

※各議案は、関係委員会で予備審査をして本会議に付されます。予備審査の詳細は別掲する委員会報告をご覧ください。

産業建設常任委員会

(委員会構成議員 5人)

委員長 久保田 均
副委員長 古賀 四郎

商工、環境、農林、土木建設、上下水道、農業集落排水、浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

指定管理者の指定

浦川委員 有田館のからくり人形の状況と今後の計画や入場者数について。また指定管理者は今後も観光協会か。

商工観光課長 有田館の入館者数、からくり人形の観覧者数は24年度までは町の直営であったが指定管理にした25、26年度は増加。27年度は1月までの数字は前年に比べ2000人多い。からくり人形は不具合もあり、いつまで動くか心配。今後は映像化するが総合的に考えるべきだが具体的にはない。有田館が内山地区の観光の拠点。観光協会は運営には、一番良いので今後も継続する。

(採決の結果) 賛成全員

平成27年度有田町一般会計補正予算(第7号)

浦川委員 クリーンセンターの跡地活用は。

環境課長 町の施設として

残す。現時点では建設課等の資材置き場等を考えられている。解体予算を新年度で上げている。

立部委員

中山間地域等直接支払交付金が減額している。減った地域は。

農林課長 岳地区。全体的に減っている。

(採決の結果) 賛成全員

有田南部工業団地造成事業特別会計補正予算(第3号)

浦川委員 仮に企業が決まってしまうから、土地の造成完成予定は。

まちづくり課長 オーダーメイド方式で、造成をしていない段階での誘致活動、話が決まってしまうから1年半はかかると予測する。

(採決の結果) 賛成全員

平成28年度有田町一般会計予算

金武委員 松浦町からの飛灰について、2月はフル稼働している。このことについて①②③を質問する。①飛灰の搬出量、請

求金額。②飛灰の運送費負担は組合か、町か。どのような契約方法になっているか。③今後いつまで受け入れ可能か。

環境課長

①飛灰の搬出量、約137トンで請求金額は約680万円。②運送費は組合の負担。有田町と組合が契約した。③今後の受け入れ可能期間は5～6年。状況により変化し得る。

浦川委員 林道の橋梁補強箇所は。

農林課長 評定橋、岩越橋。残りあと3橋。

金武委員 マイスター制度が28年度事業から消え、ろくろ検定がなくなった。伝統工芸士からも要望があっている。400年の事業の中で卓越した人の発掘をしてほしい。

商工観光課長 マイスター制度については何らかの道筋はつけた。

浦川委員 「まちのオフィス春陽堂」の空き店舗、空き工場の問い合わせについて十分な返事がもらえなかったという声があった。把握はできているか。

まちづくり課長 移住、定住のご相談は頂いている

が起業される方々からの情報提供依頼はあつていない。空き店舗と空き工場の情報整理をする。

古賀委員 有田町への移住を促進するためには、是非補助金を充ててほしい。

まちづくり課長 移住、定住の支援策は必要。他の部分とのバランスを取って検討していく。

(採決の結果) 賛成全員

総務常任委員会への
具申事項

8款 土木費
「南原原宿線道路改良業」について
南原原宿線道路改良事業に関する質疑があった。この質疑の中で、当該改良事業の説明に対して、南原原宿線を町道にするとした場合の試算根拠と、さらに県道にした場合との比較はどうなるのかを明確にしてほしいという意見があり総務常任委員会へ具申することとした。

(詳細は総務常任委員会報告をP8参照)

このほか次の議案は賛成全員で可決すべきものと決しました。

- ▼平成27年度黒牟田宅地分譲事業特別会計補正予算(第1号)
- ▼平成27年度南部工業団地造成事業特別会計予算(第3号)
- ▼平成27年度公共下水道事業会計補正予算(第4号)
- ▼平成27年度農業集落排水事業会計補正予算(第5号)
- ▼平成27年度浄化槽整備推進事業会計補正予算(第6号)
- ▼平成27年度水道事業会計補正予算(第4号)
- ▼平成28年度黒牟田宅地分譲事業特別会計予算
- ▼平成28年度南部工業団地造成事業特別会計予算
- ▼平成28年度公共下水道事業会計予算
- ▼平成28年度農業集落排水事業会計予算
- ▼平成28年度浄化槽整備推進事業会計予算
- ▼平成28年度水道事業会計予算

(採決の結果) 賛成全員

文教厚生常任委員会

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 蒲原多三男
副委員長 松尾 佳昭

▼有田町介護保険条例の一部を改正する条例

今泉委員 この条例改正は総合支援事業と関連し、生活支援や認知症支援の一環としての取り組みがなされる。地域のボランティアの協力、活用があったが、現実的な考えは。健康福祉課長 生活支援コーディネーターを配置したり、協議会を設置したりする。また、ボランティア団体に実施して頂くことも考えている。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成27年度有田町一般会計補正予算(第7号)

今泉委員 障害福祉サービス事業の介護及び訓練等給付費と相談支援給付費の増額の説明を。

健康福祉課長 障害者福祉サービス全般、サービス利用が多くなっており、単価も大きくなっているので増加傾向にある。

梶原委員 旧おおぎ、旧やまだに保育園の旧園舎の利用は。

財政課長 旧やまだに保育園は15区、16区の総区長と貸付契約をしている。唐船城800年記念事業の事務所として利用。下山谷区の浮立の機材を保管し練習されている。グラウンドは下山谷区老人会でグラウンドゴルフの練習場として利用される。旧おおぎ保育園は役場の福祉関係、住民関係でいろんな事業が想定される中、社会福祉協議会と一緒に協議している。

梶原委員 不妊治療の事業扶助費の1人当たりの上限額と、20万円増額補正の内容は。

健康福祉課長 不妊治療の助成は1回あたり10万円が上限。40歳未満の場合、年度制限なしで、通算6回まで可能となっている。追加が見込まれるため補正している。

梶原委員 佐賀県文化財保存事業で異人館修理事業減額の理由は。

文化財課長 2カ年の継続費の予算立てをしている。27年度で工事ができなかつた分は減額している。

梶原委員 繰越明許費か。

財政課長 当初から2カ年の継続費を設定しており、今年度で工事ができなかつた分は減額して28年度の当初予算に入れて完了を目指す。

福島委員 小学生のスポーツ全国大会出場などに対する補助の対応は。

生涯学習課長 小学生の補助は生涯学習課の予算で対応している。

福島委員 なるだけ多くの助成をお願いする。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成27年度有田町介護保険特別会計補正予算(第4号)

今泉委員 居宅介護サービス、家族介護支援事業について、居宅介護の定着化に向けてどう思うか。居宅介護になればサービスを提供しないといけない。町としてどうか。

健康福祉課長 居宅介護へのシフトは国の方針の変更。居宅介護では厳しく施設介護でしか対応できないという方については現在も施設を利用されている。居宅利用の方で、介護の認定を受けていない方へは居宅サービスと今回の総合事業を組み合わせてながらサービスを提供していければと考えている。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成28年度有田町一般会計予算

梶原委員 愛の一声運動事業がなくなった。予算を計上せずボランティアですることか。

健康福祉課長 27年度は愛の一声運動は近隣の方にお願いでいた。28年度は予算には計上せず、見守りや声掛けは老人クラブの活動支援のなかで行なつてもらえたらと思う。

今泉委員 臨時福祉給付金2500万円の内容は。

健康福祉課長 26年度から実施しており、新年度では、簡易な給付措置となる。住民税は課税なし。毎年単価が下がっている。単価3千円の対象者が5800名で合計1740万円。所得の少ない障害遺族基礎年金受給者向け

の年金生活者支援が追加された。単価3万円の対象の方が250名で合計750万円となる。

松尾委員 ふるさと木材利用拡大推進事業について、学校の授業でも取り組んでほしい。

学校教育課長 ふるさと木材利用は県の補助金を利用。机、椅子200セット予定。町内2校に100セットずつ検討している。教育委員会でも年次計画を立て財政課と今後検討していく。町有林を伐採する際には森林の意義、親近感、校外授業の場として活用したい。

(採決の結果) 賛成全員

▼平成27年度有田町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

今泉委員 平成27年度有田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)

今泉委員 平成28年度有田町後期高齢者医療特別会計予算

今泉委員 平成28年度有田町介護保険特別会計予算

総務常任委員会

総務に関すること、他の委員会に属しないこと、全般について審議します。

(委員会構成議員 6名)

委員長 原田 一宏
副委員長 手塚 英樹

▼有田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

池田委員 今回の条例改正は、県の新しく改正された条例に合わせるのか。

総務課長 平成26年10月の人事院勧告による県の給与表に合わせて。

▼平成27年度有田町一般会計補正予算(第7号)について

原田委員長 非常備消防費の積載車購入費の減額は、未購入が入札減か。

財政課長 入札減である。(採決の結果) 賛成全員

▼平成28年度有田町一般会計予算について

松永委員 大有田焼会館の建物貸付収入が減っているが。

財政課長 収入見込みの精査を行った。今までは、

過大見積りがあったが、今回は収入の実績に照らし合わせて予算計上した。

手塚委員 新有田町施行10周年事業補助金の内容は、

まちづくり課長 250万円計上している。10周年記念に伴う町民の方の融和と子どもたちの未来へつなげる取り組みなどの方針に基づいた事業について、平成28年12月31日までの間に完了できる事業で、20万円上限の10割補助予定。既存事業の拡充は10万円を上限としている。250万円の根拠は、新規事業の20万円が10件、拡充事業の10万円が5件である。

松永委員 新規事業でないとかメカ。

まちづくり課長 拡充部分は既存の事業プラス別の取り組みになる事業なので、基本的に新規となる。

原田委員長 防火水槽の設置箇所は、

総務課長 西地区の広瀬地区である。(採決の結果) 賛成多数

産業建設常任委員会から
の具申事項
議案第22号 平成28年度
有田町一般会計予算

土木費「南原原宿線道路改良事業」で当該改良事業の説明に対し、南原原宿線を町道にする場合の試算根拠と、さらに県道にした場合との比較はどうなるのかを明確にしてほしいという意見がありました。

この意見に対して、総務常任委員会で意見を求めました。

手塚委員 南原原宿線は町道として作り、その後、県道への昇格を考えているのか。または、県道として作るのか。

町長 基本的には南原原宿線は町道として整備する。県道への昇格は考えていない。新しく整備するので、当面は維持管理費がかからない。ゼロに等しい。

原田委員長 町道とした場合の試算根拠と県道とした場合の比較説明を。

建設課長 県道343号有田ポーセリンパーク線と県道大木有田線の年間維

持管理費用の1358万円より新規路線の維持管理費124万円を差し引いて計算した場合、県事業と町事業との事業費の差額である1億円を9年で取り戻すことができ、有利との結論に達した。又、道路網再編の交換条件である県道大木有田線を町道へ降格になった場合の歩道整備費は、30億6000万円になる試算をしている。

手塚委員 将来の維持管理を考えると、町道ではなく県道として整備した方がいいのでは。

町長 今回の県道(原宿交差点から岩崎橋手前まで)の約1キロは県道の基準で整備されていない。県道基準で整備するというのは、歩道を設置することになり、移転費用と合わせて膨大な費用がかかる。また、有田ポーセリンパーク線は大谷ため池の補修工事で拡張できない。このことも踏まえて、県道を町道には考えていない。南原原宿線を早急に作ることによって、

大型車両を国道に接続可能にすれば、県道の安全確保ができる。これが、今回の予算案の提出理由である。

手塚委員 でき上がり開通見込みは、

建設課長 正式な事業期間は平成29年から33年までの5年間である。

以上、産業建設常任委員会からの具申事項に関する総務常任委員会の意見審査内容です。

このほか次の議案は、賛成全員で可決すべきものと決しました。

▼行政不服審査法及び行政不服審査法施行令の施行に伴う関係条例を整備する条例について

▼有田町課設置条例の一部を改正する条例について

▼有田町印鑑条例の一部を改正する条例について

▼有田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

▼行政不服審査法第81条第1項の機関に関する事務の委託に係る協議について

有田小学校改築、進捗状況は

答 実施設計完成は、5月頃の予定



浦川 友喜 議員

観光行政

▽町内出入口と町内誘導サイン

議員 サイン設置について検討されたのか、やる気があるのか、設置する必要がないのか、財政的に困難なのか。

町長 商工観光課長 全体的に主要な場所には設置している。2017年から状況を見ながら少しずつ変えていく予定。町内サインが不足している所もあるので、どのようなサインに統一するか、外国語の表記も必要だと考えている。

議員 有田焼創業400年は磁石場先人への感謝である。しかし有田焼を買って頂いた方々、観光客への感謝の念が足りないのではないか。通年観光を目指すのであれば、もっと真剣に取り組むべきでは。

町長 県にも看板条例がある。基本的には交差点

はだめであり、交通事故の原因にもなるということで規制されている。道案内ということも含めて検討したい。

議員 「もてなし」の第一歩であり、400年事業の中で対応して頂きたい。

町長 サインの不足は充分理解しているので、関係団体等と協議して、400年事業の中で対応する。

▽内山地区の

駐車場とトイレ

議員 駐車場の現状は。

町長 商工観光課長 現状では非常にぎびしい状況だ。

今後、有田小学校跡地の利用ができればと思う。

議員 トイレの現状は。

町長 商工観光課長 内山地区のトイレとして7カ所設置している。観光の町として、各商店等にも協力をお願いしていきたい。

議員 泉山体育館裏にトイレの設置をお願いする。商工観光課長 イベント時には現在泉山体育館、□□□座のトイレを利用

して頂いている。今後総合的に検討したい。

議員 大公孫樹への観光客も増えている。400年事業で取り組んで欲しい。

町長 観光振興も400年事業の中に入るので全町のに検討する。

▽通年観光、有田ファンと誘客

議員 現在の状況は。

町長 商工観光課長 観光協会や商工会議所、まちづくり公社等と連携して事業を進行している。いろんな催しを実施しながら、有田ファンづくりにつな

げている。宿泊できる地域との連携も必要だと考える。

議員 ポーセリンパークとの連携は。

町長 商工観光課長 一度町内に入って頂いたが、交通がマヒして対応の難しさを感じた。会計をはじめ、外国人への対応を考えて

いかなければと実感している。
議員 嬉野市や武雄市と

の連携は。

町長 商工観光課長 嬉野市とは3年前から連携を実施している。

議員 他県の小、中、高、大学等の修学旅行者の誘致を検討して頂きたい。

人口減対策

議員 中樽団地の現状は。

町長 建設課長 管理戸数42戸中、入居者が22戸、老朽化と結露が激しく、新規入居者は、おことわりし

ている。転居希望者には平成24年から27年まで、

町内転居のみ、5万円の上限での引越補助を実施している。

議員 今後の取り扱いは。

町長 建設課長 補助事業に該当するように、町営住宅長寿命化修繕計画を策定して、平成27年から28年までに、修繕か解体か早急に結論を出したい。

議員 地域の人口減少の歯止めになるよう、良い方向で検討して頂きたい。

有田小学校改築

議員 実施設計の状況は。

町長 学校教育課長 各部屋の配置からつめている。実施設計完成は5月頃の予定である。

議員 大きな変更箇所は。

町長 学校教育課長 図書室を生徒も一般の方も利用しやすいように、2階から1階に変更した。予算が議会の議決が終り次第、住民説明会を開催する。



▲中樽団地



松尾 佳昭 議員

県の日本遺産協議会などに職員の出向を

答 人の連携が一番、必要とあれば対応していきたい

日本遺産申請

議員 地域の文化財を観光資源として活用する文化庁の日本遺産。有田町含む8市町の肥前窯業圏をテーマに申請。現状と今後の流れは。

文化財課長 12月1月と関係市町・両県の担当者が有田町で会議を開き申請を行った。4月中旬くらい認定可否か決定される。認定されれば行政以外にも商工会、観光協会、町づくり団体で構成する日本遺産肥前窯業圏活用推進協議会を30日に立ちあげる。

議員 佐賀県文化課内に日本遺産の活用を探る協議会をおき観光戦略の策定、情報発信事業にとりくむこの事。そういう場に町職員を出向させてはどうか。人材の育成、近隣の市町との連携強化につながるはずだが。

町長 日本遺産も地域連携も人の連携が一番だ。

必要とあれば対応していきたい。各市町とも連携しいろんな共通認識ができればと思う。

議員 有田らしさ・有田みがきを考えるなかで40年の時に遺産、天狗谷、山辺田などの整備などはできないか。

文化財課長 天狗谷は国の補助事業を受け平成21年度に終了しており難しい問題だ。国史跡では山辺田、原明等二つの窯跡も残っており整備の必要もある。庁内協議を進めていきたい。

議員 有田焼職人尽し絵図のアニメができる。陶器市など沢山の場で使える有効なツールでは。

文化財課長 子供達、有田焼を知らない方が見ても、有田焼をこうやって作った歴史があることを実感して頂ける内容。また現在の有田焼の製作工程も、レプリカ皿の製作の展示もできるのでは。

町外にも出ていって有田焼を知るPRのツールに

したい。

議員 1月末に東京代官山の鶯谷書店ギャラリーで『有田焼書店』が開催された。大変ユニークなイベントで大好評だった。内容と今後は。

商工観光課長 国の交付金を活用した。有田焼と本を絡めたイベント。有田焼を知らない方にも振り向いてもらえる仕掛けをして展示した。非常に好評で多くの方から有田の近くで開催希望の声があり、来年度検討したい。

議員 『日本の次世代育成リーダー塾』という全国から優秀な高校生が福岡に集まってくる。その中で唐津に二泊三日で滞在。肥前窯業圏の歴史を学ぶ機会を設けるとのこと。担当者から何とか有田焼の絵付け体験などできないかと相談があった。40年事業として大変意義があると思うが。



▲大変賑わった有田焼書店 2016.1.30

町長 この塾の内容がわかればどのような事ができるか考える。子供たちは体験が非常に貴重なものだから、そういう機会があればやってみたい。

教育

議員 平成28年度、子育て関連で特に力をいれた事業は。

住民課長 国が保育料の多子軽減という施策を現

在検討中。町も準備を進めている。保育所の環境整備もある。

生涯学習課長 引き続き放課後児童教室の充実を図る。

学校教育課長 小学校に木製の机椅子セットを配備「木に親しむ」授業に取り組んでいきたい。

学校施設の利用制限

議員 佐賀市で学校施設の利用制限が大きく報道。

過熱化が問題視の少年スポーツを抑制の狙い。週三回各二時間に制限。有田町の現状、見解を。

生涯学習課長 現在21団体申請あり。週四日以上10団体、47.6%2時間前後が殆ど。

教育長 スポーツ、文化一生涯取組むことは大変素晴らしい。大人が子供をどう育てるのか、認識をもち指導していくことが大事。実態をしっかりと把握することも大事だ。

交流促進施策「ゾーン30」の導入の検討を

答 県道281号の長い区間はできない



松永 俊和 議員

まち・ひと・しごと 創生総合戦略とは

▽まちづくり施策

議員 町は昨年まで町内四校区で「まちづくり意見交換会」をしてきた。その中で「高齢化や農地放棄問題」地域で育った人が定住するために「働く場所や子育ての施策が必要」などの意見が出ていた。その後参加された町民から「報告がない、また報告会を開いて欲しい」という意見を多く聞いたが。

まちづくり課長 今のところ報告会の計画はない。内山地区は「まちづくり検討会議」を経て「まちづくり会議」の組織を立ち上げ、具体的な計画を立て、実行に移している段階。他の三校区では「まちづくり会議」までいっていない、今後詰めていくつもりだ。28年度から総合戦略の見直しを行う。各校区別ではなく、皆さんを対象に総合計画

策定のキックオフになるような形で報告会を兼ね、何らかの形を取りたい。



▲有田中部小学校区まちづくり検討会

議員 町のホームページ（HP）で町の施策に対するパブリックコメントを求める欄がある。町長はいつも町民の意見を大事にすると言われるが、あまり活用ができていないように思う。町民の声が施策に反映できていると思われるか。

町長 町民の皆さんの考え方を大切に、町民のみなさんが主役だと兼ねてから言っている。まちづくりに関しては常に皆さんと共に、各協議会・各審議会・総区長会などで皆さんの意見を総合的に

集め、反映している。一面ではなく、特に総区長会で区の問題、区がめざす事など意見を取り入れて進んでいる。

議員 一般町民がHP上でまちづくりや施策に対する意見を書き込む方法を用意できないか。

総務課長 意見は以前より町に数力所設置している「目安箱」を利用してほしい。ホームページの利用は今のところ考えていない。

▽「基本目標1」 仕事づくりについて

議員 広報3月号で魅力ある雇用を創出するところがあるが具体的なには、110人の雇用は可能か。

まちづくり課長 南部工業団地は県との共同事業「オーダーメイド方式」による企業誘致を協議している。起業支援、創業支援計画、女性の参加による六次産業化、佐賀大学と学生や町の連携で創出する。可能だ。

議員 オーダーメイド方式で2〜3年で工場整備まで完了できるのか疑問に思うが。

町長 用地買収は完了。水道事業だけであと十億円程かかる。町の負担にならないようにオーダーメイド方式をとる。

▽「基本目標2」 定住・交流促進について

議員 人口問題と雇用の問題は切り離せない問題だ。内山地区は空き家や人口高齢化対策などが最優先と思うが。

町長 総合的な戦略を立て実行しているつもりだ。

議員 空き家インフォメーションの進捗状況は。

まちづくり課長 27年度は登録6件(内2件が成約、2件撤回、2件が登録中)。まだ登録件数が少ない。空き家の活用を住民と一緒に行う。

議員 地域おこし協力隊と所有者が安心して相談できるように、地区の知

り合いや役員と一緒に取り組む体制の整備が必要。

議員 交流促進策で町内に「ゾーン30」の考えはないか。今般、町中を歩く人通りが多くなっている。「車の風圧で引きこまれそうになった、怖かった、危険と感じた」などの声が多く聞かれるようになった。今年40年祭でも多くなるので事故が心配だ。以前より声はあつたが、これを機に「安心安全な観光の町有田」にするために、県道に「ゾーン30」を導入してはどうか。

町長 長い区間はできない。生活道で県道でもある。緊急時などいろいろな事がある。短い区間では可能だと思つ。

☆「ゾーン30」とは

自動車事故抑制のため、市街地や住宅街など生活道路における歩行者の安全な通行を確保するため、にその区域を最高速度30キロに制限する。



池田 栄次 議員

省エネルギー対策
集落の防犯灯をLED球に

答 LED化は避けられない

黒牟田宅地分譲事業

宅地は完売したのか

議員 宅地は完売したと報告を受けたが、まちづくり課長 全111区画の内、2区画が商談中。完売ではない。

立替金は戻せるのか

議員 販売が進まず、5年満期一括償還資金が確保できずに一般会計から立替えて返済した。立替金は戻せるのか。
まちづくり課長 減債基金から繰出して補正予算を組み返済した。平成23年度から経費を除いて一般会計に戻し入れしている。

議員 この事業は旧有田町が9億760万円を借りて始めた特別会計事業。当初から販売原価が鑑定額を上回り、値引きや奨励策等で赤字が増えている。総事業費に対する販売額を示した決算報告を求めておく。

廃棄物の集積と運搬

運搬業務と委託契約

議員 持込ゴミは1月から、町が国庫補助金で購入した車両で「さが西部クリーンセンター」(伊万里市松浦町)に運び、焼却灰をクリーンパークに搬入している。移送回数は一日に2〜3回だと聞いていたが、



▲飛灰運搬車両

環境課長 週に2〜3回だ。(会期中に、「毎日1〜2回」と答弁を修正)

ゴミの仕分けや移送は誰がするのか。

議員 ゴミの仕分けや移送は誰がするのか。
環境課長 業務委託先の従業員だ。

議員 委託先はどこか。
環境課長 できれば名前は見せたい。

省かれた議会付議

議員 新たな制度による移送業務であり、登録業者間の競争入札で委託先や委託料を議会で諮る必要があったはず。

環境課長 以前からリサイクルプラザの運転管理業務に入っており、その中で対応した。議会に説明していなかった。

議員 結果的にこの方法で良かったのか、随意契約の妥当性を含め、監査委員の判断に委ねたい。

事業に透明性がない

議員 12月までゴミの持込料は50円だった。去年6月、新制度での提案は150円。「3倍になる」と否決され、9月に120円が再提案されて可決

した。だが、松浦の焼却場に町民が直接搬入すると80円で済む。

一方、ゴミの処分料として160円が必要で、半額80円は町が負担しているとも聞く。同じ10kgのゴミに、なぜ幾通りも料金があるのか。

町長 有田町は他の市町とは違い、7tの飛灰運搬トレーラ車を保有して一般ゴミも受入れ、焼却場までの往復40kmの運搬料として80円に上乗せして120円としている。

議員 1月から始まったばかりだから課題も出てくると思う。町民の声を聞いて、改善すべきは早急に改善する方向でお願いを申し上げたい。

防犯灯をLEDに

消費電力は10分の1

議員 町が設置・管理する防犯灯があるのか。
総務課長 町にはない。町の約1600基すべて

を各集落が設置・管理している。新設に5万円を上限に補助している。



▲蛍光灯防犯灯の約50%削減できるLED防犯灯

議員 地球温暖化防止と省エネ推進、犯罪の未然防止に町を明るく、安全・安心のまちづくりに消費電力が10分の1で済むLED球に交換する市町が増えている。

毎年1千万円位は必要だが町も、3年位で全集落の防犯灯をLED化する検討を求めたい。

総務課長 すでに交換した集落もある。公平性を保つ必要から幅広い面から検討を進めたい。

町長 毎年25本ほど新設され、補助もしている。LED化は避けられない。

二七電話詐欺対策は

答 パンフレットや広報で注意喚起をしたい



原田 一宏 議員

平成27年一般質問の
答弁の検証と対応

①地場産業の再生支援 と産業再生

▽「がんばる事業者応援
モデル事業」の状況と
今後の取り組み
議員 この事業の二次募
集は行ったのか。
商工観光課長 二次募集
は行っていない。

議員 28年度はこの事業
の予算取りはない。28年
及びそれ以降の産業再生
支援はどのように考えて
いるか。
商工観光課長 必要性が
あると認められれば、議
会にお願いで、予算の
計上もあり得る。

▽産業再生の取り組み

議員 産業再生の基盤整
備や後継者問題を真剣に
協議すべきと思うが、ど
のように考えているか。
商工観光課長 複数社で
の窯の共有によるコスト
削減、地域再生ファンド
の活用等、後継者育成問

題も含めて業界と協議を
していきたい。

②ふるさと納税

議員 現在の納付状況と
新しい戦略はあるか。
総務課長 3月8日現在
約3600件の申し込み
で約3億2000万円の
寄付金がある。新しい戦
略としては、安価な返礼
品を充実させ、やきもの
では関係団体に問い合わせ
て、お礼の品を増やし
ている。また、40年事業
と絡めて、ふるさと納税
でもPRしていく。

③有害鳥獣対策

議員 静岡県南伊豆町の
電気柵感電事故を受け、
町内の電気柵の状況と
町民への周知は。
農林課長 伊万里有田地
区有害鳥獣対策協議会で
電気柵やワイヤーメツ
シユの設置要望の取りま
とめと有害鳥獣捕獲・駆
除の報奨金の補助や捕獲
わな設置の整理を行って
いる。また、安全対策の

調査で、危険表示板が漏
れていた箇所があったの
で、早急な設置依頼をし
ている。
議員 イノシシばかりで
はなくサルの出没も増え
ているが、その対応は。
農林課長 適宜、町民の
皆さんへ注意喚起の放送
や回覧の配布等をしてい
く。

④通年観光

議員 卸団地の懸垂ペナ
ントのようなものが、町
でもできないか。
40年推進課長 40年の記
念イヤーとして見せるこ
とも必要。すぐにはでき
ないが、現在、有田駅前
や内山地区の商店街とも
協議をして進めている。

⑤有田ダムの橋梁工事

議員 工事の完了予定と
陶器市期間中のシャトル
バスの運行は。
農林課長 27年度に1橋
後は1年1橋の進捗で補
修工事を施工するものと
考えている。また、シャ

二七電話詐欺問題

議員 全国で被害が多発
している二七電話詐欺の
町内の現状は。
住民課長 週2回消費者
生活相談を行っているが、
平成26年度の二七電話相
談が97件（高齢者を狙っ

トルバスの運行について
は、工事は「補強」では
なく「補修」なので、全
工事が終わり「橋梁耐荷
力調査」といった手順を
踏まなければならず、現
時点では何とも言えな
い。

たトラブルが増加)で、
平成27年は2件の被害を
把握している。

議員 二七電話や勧誘電
話への対応・対策は。
住民課長 おかしいなど
思ったら、家族や町・警
察に相談してほしい。ま
た、注意喚起のパンフレ
ットを作成中で、広報に
も掲載する予定である。
今後、マイナンバーや電
力自由化による勧誘があ
るかもしれないので、注
意を促したい。



▲町より閲覧されたおれおれ詐欺の資料



立部 正則 議員

有田小学校建設に伴う町有林の使用意義教育について

答 教育は実施する

正職員の定数について

議員 役場の職員は、4種の形態があるが、現状の正職員の割合は、総務課長 だいたい65%くらいである。

議員 現状の割合でよいと思うか。町長の意向は。町長 長年かけて今の状態になってる。これだよいか確認中。今後検討の必要はある。

議員 各課の年代別の配置バランスはどのようになっているか。

総務課長 年齢構成としては20代16%・30代24%・40代34%・50代27%となっており、課によっては、経験者が必要なところもあり勘案して配置している。

議員 極端な偏りはないと考えるとよいか。

総務課長 偏りはないと考えている。

議員 課によってはスペシャリストが必要と思うが。

総務課長 異動があっても業務に差し支えないように正・副の担当を設けて対応している。

議員 昨年独立した環境課が、1年で住民課と統合されているが何故か。

総務課長 保育園の新築、西部クリーンセンターの設置と1人の課長では対応ができませんでしたが、両方解決したため、以前の形に戻した。

農産物の特産品づくり

議員 農産物の特産品づくりの進捗は。

農林課長 特産品づくりの実行委員会を5回開催している。品目を検討している。

議員 特産品づくりの専門職を配置しては。

町長 この地に適した作物を検討している。今少しこの状態で進めたい。

議員 産・学・官の連携はできないか。

町長 そのような方向で

考えたい。

有田小学校建設に伴う町有林伐採について

議員 有田小学校に町有林を使用するということが場所と面積は。

農林課長 国見公園の北側を5ha予定している。

議員 選定理由は。

農林課長 ヒノキの34年生で使用目的に適している。道路が隣接して作業が容易である。

議員 作業に入っているのか。

農林課長 伐採作業に入っている。逐次搬出し、3月中に終了予定。

議員 町有林を使って学校を建てる。このことを児童に教育しているか。

学校教育課長 学校には連絡しているが、児童には教えていない。

議員 町有林を使うことは郷土愛等を教育するには絶好の機会であると思うが。

教育長 環境教育・情操

教育・教科教育につながると思う。今後検討する。

議員 伐採現場を児童に見せてほしい。また、植える時には1本なりとも植える体験をさせてほしい。

教育長 子どもたちに、体験をさせることは非常に大切なことだと思う。検討する。

議員 学校が建設されるのは40年50年に1回なので、この機会に恵まれた子どもは幸せだと思う。是非実現してほしい。

教育長 4月から5月あたりに体験をさせたい。

議員 町有林には、自分の施設は自分達が調達すると思うがいじめられているので、ぜひ子ども達に伝えて欲しい。同時に、山の持つ災害防止等の意味も併せて教育を願う。

西有田中学校の2学期制の検証結果

議員 9月議会より質問している西有田中学校の2学期制の検証結果は。

教育長 保護者の意見は、音楽等の授業時間の少ない教科については評価がきちんとできている。テストの回数が少ない。学校としては、テストの回数は他校と比較しても少ないことはない。学校としては、入学前の説明会等で、充分説明していく。

教育長 13人が肯定的で3人が批判的な意見。総合的に考えると、2学期制の効果は出ていると思うので継続していく。

議員 小学校にも拡大する予定は。

教育長 現在のところは、小学校と中学校の違いの説明が不足していたと思うので、今後は充分説明していく。

空き家対策で移住・定住促進を

答 商情報収集と発信により審議会を発足



古賀 四郎 議員

有田町空家等の適正な管理に関する条例について

議員 情報収集はどのように行うのか。

まちづくり課長 空き家インフォメーションにて業者との連携や内山地区においては空き家や空き店舗、空き工場等の状況を把握できる体制作りを進める。

議員 「まちのオフィス春陽堂」での情報収集は住民の情報が基となるが開閉時間、土・日の営業や職員の勤務時間等はどう考えるか。

総務課長 当然、職員だけでは対応できないので地域おこし協力隊等を含めた計画を策定し、住民の利用しやすい環境を整えたい。
また、貸せる空き家、売る空き家、特定空き家等いろいろな場合が想定されるので、地元住民の方々

の協力を得ながら空き家対策を策定する。

議員 空き家対策制定審議会の人選は。

総務課長 人目的には10人程度の予定で現在7人の方々に打診している。

議員 現在、町外からの新築移住者には補助金があるが、中古住宅の移住者には補助制度がない。交流人口を増やすためにも何らかの方法を。

まちづくり課長 検討が必要だ。

議員 空き家インフォメーションの活動内容は。

まちづくり課長 売買したい人6軒の登録受付がある。現在、手法や有効活用などホームページ等で公表しているが、広く住民に周知できるようにしていきたい。

議員 特定空き家の認定により家が建っているほうが固定資産税は最大で1/6になる特例で空き家の放置が認められなくなるがこの判定は誰が下すのか。

税務課長 審議会が判定する。

議員 現在、泉山と白川に倒壊してしまった空き家と倒壊寸前の空き家があるが承知しているか。また、今後の対応は。

総務課長 泉山の件は承知していなかったので早急に持ち主の方と協議する。

議員 白川の件はどうする。

総務課長 2軒把握している。通学路でもあるので安全面の上からも対策を行なっている。今、持ち主と協議中である。

議員 連絡の取れない方や費用負担のできない方等の対応は。

町長 他地区の事例を参考に町に寄附していただいたり、業者と協議しながら有効利用できる物は利用し、人口増につながるよう、他の施策と共に活用していきたい。

副町長人事

議員 副町長人事について、考え方が一緒の人がいて必要とされる時期がくればとの前提で昨年の議会において町の体制と機構改革の目途をつけ、本年3月末迄にと期限を付けた発言をされたがどうなったか。

町長 現在の体制に何ら問題はなく業務に支障をきたす状態にない。置く必要性はない。

議員 任期あと2年、置

かないつもりか。

町長 人事の問題であり、必要と認められた場合は置く。



福島 日人士 議員

農業用溜池の維持管理について

答 受益者の維持管理により整備される

有田町防災事業 取り組みは

議員 毎年のように全国各地で集中豪雨による堤防の決壊や土砂災害などの激甚災害が発生している。梅雨時や夏の台風による大雨の災害の時期に、老朽化溜池の決壊なども予想される。また高齢化に伴う農地の荒廃などが数多く見られる。現在有田町内溜池は何力所くらいあるか。

農林課長 旧有田町の溜池台帳で58、旧西有田で138、合わせて196カ所。旧西有田の昭和44年時点では、個人も含めて240カ所。農業用として使用していないものでは、外尾山地区の三朗山溜池がある。

議員 昨年、楠木原地区で溜池の堤体陥没があった。町内には大規模の溜池が数多くある。山谷切口には溜池百選に選ばれた山谷大堤、中樽地区には大谷溜池など、先人た

ちが残した素晴らしい溜池が数多くある。今後、災害復旧、県営溜池、農業用として利用していないものの維持管理など町の対策は。



▲濁淵溜池

農林課長 農業用としての利用でも、受益者の維持・管理により整備されるもので利用されている。町単独の補助事業や県・国の補助事業、災害復旧事業の対象となる。

認知症対応

議員 全国で65歳以上の「老々介護」は51・2%、

年間10万人以上が離職を余儀なくされている。現在有田町で行っている介護保険で利用できるデイサービスとは。

健康福祉課長 ホームヘルパーが訪問して、食事や入浴、排せつ、家事の支援をする「訪問介護」が2事業所。床ずれの手当や点滴の管理、状態の改善などを行う「訪問看護」が2事業所。移動入浴車による「訪問入浴介護」が1事業所。車いすや介護ベッドなど日常生活の自立を助ける用具を貸し出す「福祉用具貸与」は15事業所ある。

議員 一人で行う介護には限界がある。施設を利用する介護サービスとは。健康福祉課長 日常生活の世話や機能訓練、専門的なケアを提供する「認知症対応型通所介護」が1事業所。利用者の希望に応じて「訪問」や「泊まり」のサービスを提供し自宅での生活を継続的に支援する「小規模多機

能型居宅介護」が1事業所。高齢者が食事や入浴排せつといった日常生活の支援や機能訓練が受けられる「認知症対応型共同生活介護」は3事業所ある。ホームヘルパーや看護師、ケアマネージャーなど地域包括支援センターと連携し、総合的な支援を行っている。

議員 2015年、厚生労働省による認知症の推計では、約517万人以上で65歳以上の約16%。認知症サポーターを増やし地域とのコミュニケーションや行政との連携が大切だ。在宅介護・施設の介護サービス利用者は何人くらいか。

健康福祉課長 平成27年9月サービス分で訪問介護・看護が197人、入浴介護は6人、福祉用具貸与は230人。また、認知症対応型通所所が21人、小規模多機能型が10人、認知症対応型共同生活介護が48人である。

携帯電話利用

議員 携帯電話、特にスマートフォンなどが手放せないネット依存の低年齢化が深刻だ。子供の携帯電話使用ルール作りについて町内小中学校の状況は。

教育長 平成24年度のある統計では、高校はほぼ100%所持、中学生が50%、小学生が4人に1人。有田町の小学生の所持・利用（保護者の携帯使用）は67%、中学生は91%である。携帯電話の利用については、新聞記事の提示や映像での指導、学級懇談会で保護者へ通知、学校便りでの啓発、夏休み前の全校での指導、プリントなどの配布がある。今後は郡PTAや各学校PTA、教育委員会と連携して危機感を持つて対応していく。

歴史と文化の森公園 「指定管理者を最終的に決めるのは誰か」

答 町長である



金武 康男 議員

内山の電線地中化

議員 28年度予算3千万円は設計費用か。

建設課長 地中化200m分の工事費であつたが詳細設計も実施してないので変更補正する。

議員 事業実施に必要な住民同意は何時までに取れる予定か。

まちづくり課長 今は答えられない。

議員 70m間隔で設置されるマンホール工事で全

面通行止めとなる恐れはないか。

議員 関係住民の同意が前提の詳細設計の時期は。

まちづくり課長 地中化する事業同意を受けた後、下水道の実施設計と同時に

議員 電磁波の健康被害に対する説明もなく、それ程経済効果が期待できない

地中化に莫大な費用を掛けるより、内山の空き店舗対策や駐車場整備



▲佐賀市内に設置してある変圧器

などを行うべき。まず、内山の区長3人の理解を取り付けてから、住民説明を行うべきである。まちづくり課長 住民の協力と理解がなければ進めることはできない。

歴史公園の指定管理

議員 指定管理候補者を最終的に決めるのは誰か。

総務課長 町長である。

議員 指定管理者として管理業務を継続することが不相当と認められる時は、指定を取り消すことは可能か。

総務課長 その様に募集要項に記されている。

議員 公園管理者と常時接触する立場の担当課長は選定委員として相応しくないのでは。

総務課長 管理状況を把握するため委員として必要。

議員 11月に選定委員会が響を選定したのに、なぜ12月議会で提案がされなかったのか。

総務課長 選定委員会は事業計画を重視し響を選定したが、町長は維持管理を重視したので、その調整に時間を要した。

議員 響は企画委員会の意見に基づき自主事業の

充実を図るとしているが、その委員会は27年度開催されていないと聞いている。

生涯学習課長 1月25日までに1回だけ開催されている。

議員 選定過程で両者の実績が余り評価されていない。響が管理する前の3年間は年平均200万円程町に返納されている

が、響は0円。維持管理にも問題が有った。今回、応募する資格さえなかったのでは。

総務課長 文書による警告など受けていないので問題ない。

議員 響関係者のブログで「町長より突然の呼び出しを受けて指定管理の辞退を求められた」と書かれているが事実か。

総務課長 ブログは個人的なものであるから言えない。

町長 呼びだした事実はない。理事長に現在日常の保守管理ができていないので要項に従った管理

ができるかと尋ねたところ、できないとの事であったので、それでは指定管理は難しいですねと話した。

議員 「選定委員会の選定が済んだあと12月議会に提案がなかったため選定委員会に対し徹底して説明を求めるため8回やり取りした。」と響が言っている。

11月末に町長は辞退を求めたがその後のやり取りの後、結局響を管理者とした。応募者が最終選定前に、執行部と折衝するのは要項で禁止されている「接触」ではないのか。ここは一度取消して歴史公園の指定管理の在り方から再検討すべきである。来年度も響が管理されると思われるが適時に芝刈り・草刈りを行っていたらきたい。生涯学習課長 担当課として指導協力したい。



手塚 英樹 議員

南原原宿線建設は県道にすべきでは

答 町道で建設する

南原原宿線の建設計画

議員 新道建設は経済効果や町内の交通量緩和に有効である。新道建設を町道にするのか、県道にするのか、50年後の維持管理まで考慮して決定すべきである。2月の全協では、総工費は12億円。町道の場合は、町の持ち出し分、1億6千万円。県道の場合、町の持ち出し分は6千万円。但し県道にする場合、現在の県道343号有田ポーセリン線(4.9km)・県道281号大木有田線(1.05km)を町道に変更しなければならぬ。この2路線変更後の町維持管理費が年間約1千3百万円かかるため、町道・県道での町持ち出し分の差額1億5百万円は約8年間で取り戻すことができるので町道で建設すると説明があった。では新道南原原宿線の維持管理も検討すべきである。

建設課長 計画路線の維持管理は、橋梁点検・維持管理・舗装補修で年間約124万円である。

議員 平成26年度決算実績書によると町道維持管理として1千8百万円、町道全長が288kmとあり6万3千円となる。

議員 有田ポーセリン線と有田大木線全長約6kmで計算すると37万8千円となる。県の維持管理費との差があるが。

建設課長 県土木事務所2年間の実績を確認し、平均額で算出している。

議員 県道を町道に変更した場合、維持管理費は安くなるか。

建設課長 町道になると維持管理費の質を下げざるをえない。

議員 50年後には橋梁の架け替えが発生する。予測される費用は。

建設課長 解体費6千6百万円、橋梁改修費2億7千万円かかる。耐用年

数は50年である。

議員 50年後に有田町の人口11000人になると推測されている。後世のために負担を軽減しなければならぬ。橋梁架け替え費用を含め県道を町道にした場合、有田町に合った維持管理を考慮して検討を。

町長 町道管理288kmのうち、事業をしているのは1割程度である。県道343号・281号は未整備路線である。新しく道を作ると当面間、維持管理費は掛からない。

議員 道はできたが、50年後の橋梁架け替え時に、何故県道にしなかったのかと思われぬように、有田ダムの橋のように予

算がなく通行止めにならない様にもう一度検討を。

議員 南部工業団地について県との協議は。

まちづくり課長 県企業立地課とまちづくり課担当職員で協議している。造成費用と県と町で協働できることを協議している。

議員 オーダーメイド方式のため進出企業が決まってしまうが、企業誘致に向けた営業は。

まちづくり課長 首都圏本部によせられた情報の収集を行っている。県には事務系企業が来ている。情報を収集中である。

議員 会社四季報などを利用して一部上場会社にDMを出すなど積極的な企業訪問営業は。

まちづくり課長 まちづくり課の職員単独での誘致企業訪問営業はまだ行

っていない。

議員 南部工業団地を紹介するパンフレットは出来ないか。

まちづくり課長 パンフレットはできていない。南部工業団地はオーダーメイド方式のため造成イメージ図の紹介になる。工業団地の特徴や西九州道路との隣接など、立地条件について資料を用意したい。県とは造成と道路、水の確保等を協議している。

議員 工業団地取得の費用の支払いが平成28年度から始まる。早急に企業を誘致して若者の雇用確保が必要である。そのためにもトップセールが要だ。

町長 この事業は県と町と半分の事業である。セールスは県の企業立地課が進めている。町の負担を少なくするためのオーダーメイド方式である。

議員 オーダーメイド方式だからこそ、営業が必要ではないか。



▲(仮)町道南原原宿線計画図

南部工業団地

算がなく通行止めにならない様にもう一度検討を。

議員 南部工業団地について県との協議は。

まちづくり課長 県企業立地課とまちづくり課担当職員で協議している。造成費用と県と町で協働できることを協議している。

議員 オーダーメイド方式のため進出企業が決まってしまうが、企業誘致に向けた営業は。

まちづくり課長 首都圏本部によせられた情報の収集を行っている。県には事務系企業が来ている。情報を収集中である。

議員 会社四季報などを利用して一部上場会社にDMを出すなど積極的な企業訪問営業は。

まちづくり課長 まちづくり課の職員単独での誘致企業訪問営業はまだ行

っていない。

議員 南部工業団地を紹介するパンフレットは出来ないか。

まちづくり課長 パンフレットはできていない。南部工業団地はオーダーメイド方式のため造成イメージ図の紹介になる。工業団地の特徴や西九州道路との隣接など、立地条件について資料を用意したい。県とは造成と道路、水の確保等を協議している。

議員 工業団地取得の費用の支払いが平成28年度から始まる。早急に企業を誘致して若者の雇用確保が必要である。そのためにもトップセールが要だ。

町長 この事業は県と町と半分の事業である。セールスは県の企業立地課が進めている。町の負担を少なくするためのオーダーメイド方式である。

議員 オーダーメイド方式だからこそ、営業が必要ではないか。

っていない。

議員 南部工業団地を紹介するパンフレットは出来ないか。

まちづくり課長 パンフレットはできていない。南部工業団地はオーダーメイド方式のため造成イメージ図の紹介になる。工業団地の特徴や西九州道路との隣接など、立地条件について資料を用意したい。県とは造成と道路、水の確保等を協議している。

“国史跡山辺田窯遺跡”
CG保存、及び観光化への整備を！

答 皆さんと知恵を出して進めていきたい



梶原 貞則 議員

山辺田遺跡発掘調査

議員 昨年度に続いて今年度も行われた、山辺田遺跡発掘調査の概要は。

文化財課長 今年度の発掘調査は、佐賀県の有田焼創業400年事業佐賀県プランの一環として行われた。今回の調査では、色絵の磁器片が大量に発掘された。絵付けの作業に使う乳棒、赤絵窯の部材、製土関連施設などが発見された。やはり、色絵磁器の最初の頃の工房跡だろうということが今回の調査で解った。

議員 国史跡山辺田窯跡は磁器が焼かれる前に陶器が焼かれていた。その後、磁器に変わっていく変遷がみられる貴重な窯である。古九谷の赤絵前の破片も発見されている。今回の調査で、この山辺田窯跡及び遺跡で初期の赤絵古九谷が製作されたことが判明したと思つた。このことを謳い、観光化

への整備をお願いしたい。

昨年、佐賀市の「三重津海軍所跡」が世界遺産に認定された。ここには佐野常民記念館以外に何も無い。専用の機器を使用して、昔の様子や鉄製の材料を作る溶鉱炉、造船の様子などがCG(コンピュータ・グラフィック)によって垣間見ることが出来る。こういう展示方法なら新たに構造物を建てたりせずに、低予算で施設整備や保存ができるかと思うが。

文化財課長 来年度、九州陶磁文化館で県の山辺田遺跡の発掘調査の成果を基に企画展示をされる予定で、今後は、議員が提案された今の時代に合った保存や見せ方を含め



▲山辺田遺跡発掘調査

た検討協議をしていく必要があると思う。

議員 有田焼創業400年の記念事業として、天狗谷窯跡と共にCGによる保存としてはどうか。

町長 今までは窯跡等、史跡の保存方法が難しかったが、現在では色々な技術がある。史跡をどう観ていただき、どう伝えていくかと言うことを皆さんと知恵を出して進めていきたい。

食育の推進

▽学校給食で、家庭用食器を使用した食育を

議員 有田町では、「日本磁器発祥の地」ということで給食食器にいち早く有田焼を導入してきた。今では県内のほとんどの小中学校で磁器の給食食器を使用している。しかし、この給食食器は、以前から使っていたアルマイトやプラスチックの形であり、一般家庭で使用しているご飯茶碗や皿などは違っていているのではないかと。現在、食の多様化やファストフード等の影響で食器を使用する機会が減少しているのではないかと。学校の給食食育の現場で、家庭用の縁の薄いご飯茶碗や長四角の焼物皿、楕円形のカレー皿等の有田焼を使う「有田ならではの食育」を

実施してはどうか。今度改築する有田小学校の誕生給食から始めてほしい。

教育長 陶磁器の町という土地柄に子供たちは住んでいる。有田を誇りに思い有田を大事に思う気持ちを育てていくことは大事なことで、少年数での誕生給食等で検討していきたい。

その他の質問
◇町の活性化について



▲学校給食食器



蒲原 多三男 議員

胃がん撲滅のため「ピロリ菌の除菌」への助成を!

答 がん対策の重要施策として早く実行したい

まち・ひと・しごと創生法

議員 国の責務、政府が講ずべき「まち・ひと・しごと創生」に関する施策を総合的かつ計画的に実施することを目的に、平成26年11月に法律として制定した、まち・ひと・しごと創生法を受け「有田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定された。このことに対する町長の思いは。

町長 消滅自治体が出るといわれる中、結婚、出産、子育てに行政として安定した仕事、安心して暮らせる環境の住みやすい町にしたい。補正予算で、加速化交付金を活用する2事業を申請している。

議員 2事業の中身は。また、若者支援、子育て支援は。

まちづくり課長 他の自治体がない先駆的なもの、官民協働であること、市町をまたぐ政策

間の連携である3つの要件中2つを満たすことで加速化交付金事業の対象になる。有田の観光、農業、窯業と異なる産業の観光マネジメントの一本化で、人材育成・新規商品の開発が一つ、二つ目は、波佐見町との連携で両町の主要ポイントを巡る2次交通の整備だ。また若者同窓会開催支援事業を28年度に行う予定だ。町として子育て世代の支援は、地方創成戦略を貫く視点だ。

議員 高齢者や若者が安心できる暮らしのため共



この2月県議会に予算計上している。

がん撲滅のために

▽ピロリ菌除去で胃がんの撲滅を

議員 先の12月議会で、

がん検診の重要性を問い、町長から早期の発見、治療との答弁があった。ピロリ菌除菌を胃の内視鏡検査を要件に2013年2月から保険適用の実施となった。胃がんは、年11万人を発見、約5万人亡くなっている。近隣市町に聞くと、通常は7〜8千円掛かるが、唐津市・武雄市・嬉野市・大町町では20歳から39歳の年代の方に自己負担千円でピロリ菌検査の助成をしている。佐賀県としては県下の中学3年生を対象として、

この2月県議会に予算計上している。健康福祉課長 近隣市町の取組みは承知している。

議員 公明党有田支部として、「ピロリ菌検査の個人負担の軽減を求める」署名簿3408人分を町長に提出したが、どう思うか。

町長 署名を受け、他市町を参考にし検討して、できるだけ早い時期に行いたい。

自転車走行の安全

▽道路交通法改正と、安全教育は

議員 安全教育は

昨年6月1日の道路交通法の改正で、自転車の罰則が強化された。学



校現場での取り組みは。教育長 通学に自転車を使用する中学校では、改正後に指導を強化した。小学校では親子でも安全教育を、各学校は取り組んでいる。

議員 通学時の安全と長期休暇時の教育を。教育長 安全のための教育を、更に進めていく。

有田焼創業400年事業推進委員会

委員会構成議員13人 委員長 梶原貞則 副委員長 原田一宏

委員会中間報告（H28, 2/22）

<有田の魅力展委員会>

詳細については次ページを参照してください。

<記念セレモニー委員会>

12月31日のカウントダウンイベントは、多数の来場者で盛り上がり、4,000個の碗灯の青海波もとてもきれいで、NHKの「ゆく年くる年」の放映により、日本中の多くの人に見てもらえて、有田焼創業400年のPRになった。その後の記念セレモニー委員会は開催されておらず、新たな報告はなし。

<子どものための企画委員会>

継続協議事項

- ①スケッチの映像化……各小中学校から100点の作品を選出し、平成27年度の絵画を中心に紙媒体ではなくデータ化しDVDに焼く。
- ②子ども皿踊り……対応は各小学校で違ってくるが、10月23日を全校登校日とし、調整を行っている。
- ③子ども陶芸展……町内の小中学校から、焼き物を特に学びたいという児童生徒を公募し、夏休み期間中に座学や実技等を通して、実際に焼き物を作ることを計画している。
- ④タイムカプセル……7月に開封し、12月に封かん物公開の予定。新たな封かん物はデータ化するか他のやり方にするか検討中。
- ⑤キッズ検定……昨年同様今年も行う。子どもキッズ検定合格者から有田キッズガイドマスターとして主に5, 6年生から20人ほど募集し、実際に現地を案内できるようなキッズガイドの養成を行う。10, 11月に大人のガイド同伴で案内をするように検討中。

<有田まちなかフェスティバル委員会>

有田まちなかフェスティバルは10月1日から11月30日までの2カ月間の開催予定。事業として80件、多くの集客を目標としている。実施主体は有田まちづくり公社が行い、テレビ番組の誘致、テレビ局とのタイアップ、アーティストや知名度のある講師を招聘してのイベント実施・講演会等もできないか検討していく予定。「有田まちなか博物館」開催も検討中。

※イベントカレンダーが完成し、400年記念陶器市、ありフェス等で町外にPRし、400年以降「明るい豊かな町 有田」へなることを望む。

「400年有田の魅力展」結果報告

基本イベント

- ・現代有田の名匠作品展 ・有田焼名窯特集 ・有田焼400年の歴史展
- ・有田焼工房再現 ・有田皿踊り ・碗琴演奏会

- ◆三越日本橋本店 H27, 9/30~10/5 来場者 約28,000人 売上 約6,000万円
(その他のイベント) 「はじまりのカフェ」セミナー など



▲はじまりのカフェ(シェフ須賀洋介氏の「ARITA TABLE」)



▲絵付け体験



▲店内での皿踊り披露

- ◆阪急うめだ本店 H28, 2/24~2/29 来場者 約32,000人 売上 約2,500万円
(その他のイベント) 上絵付ワークショップ など



▲上絵付ワークショップ



▲皿踊り披露



▲ろくろ実演

- ◆福岡三越 H28, 3/9~3/14 来場者 約18,000人 売上 約3,000万円
(その他のイベント) 「有田C A F E」 など



▲オープニングセレモニー



▲おてしよ皿コレクション



▲有田C A F E

今後の予定

- ◆東武百貨店池袋店 H28, 6/23~6/28
(その他のイベント) 暮らしの中の有田焼・豆皿を中心としたアイテム企画
東武自主企画「古美術展」
- ◆あべのハルカス近鉄本店 H28, 7/13~7/19
(その他のイベント) 「有田焼カレー」イートインコーナー設置予定
100年以上続いている窯元の「今の日常の器」展も開催予定
- ◆佐賀玉屋 H28, 8/13~8/21
- ◆広島 福屋八丁堀本店 H28, 9/8~9/13

有田町政治倫理条例制定検討特別委員会 報告

第1回 1月15日

NPO法人市民オンブズマン連絡会議佐賀事務局の味志陽子氏を講師として、県内太良町、白石町、上峰町などの条例を参考にしながら政治倫理条例について研修会開催。

第2回 1月29日

県内3町の条例に加え嬉野市政治倫理条例を参考に引き続き条例制定の検討について協議した。

第3回 2月12日

条例制定に対する各委員の意見を聴取した。

- 意見として、◎有田町に合った条例を制定して頂きたい。
◎もっと十分に時間をかけて議論すべきだ。
◎順次報告をしながら町民にわかりやすくしたい。
◎議員必携にも記載してあるので必要ないのでは。 など

第4回 2月24日

これまでの協議、各委員で勉強した経緯をふまえての意見を聴取した。

- 意見として、◎条例文のでき上がりを見てから決めたい。
◎全員賛成による制定がよいのでは。
◎400年事業に集中する時期ではないのか。 など

その後、条例を制定するかしないかの採決をすることに決定した。

採決の結果、条例を制定することに賛成者5人、反対者10人で、反対多数により有田町政治倫理条例を制定しないことに決定した。

懲罰特別委員会を設置

金武康男議員に懲罰動議

3月定例議会で、3月11日（金）金武康男議員に対する懲罰動議が提出され（提出者原田一宏議員、賛同者蒲原多三男議員・松尾佳昭議員・松永俊和議員）、議事日程に追加することを賛成多数で可決した。

議会は即時に、有田町議会委員会条例の定めに従って懲罰特別委員会（議員8人で構成）を設置した。

互選の結果、古賀四郎委員長（産建）、手塚英樹副委員長（総務）が決まり、委員会構成は今泉委員（議運）・池田委員（議運）・原田委員（総務）・蒲原委員（文厚）・松尾佳委員（文厚）・久保田委員（産建）である。

会期中の審議では決着がつかず閉会中の継続審議となった。

提出理由

金武康男議員は、平成28年1月25日の臨時議会で特定非営利活動法人「響」を歴史と文化の森公園の指定管理者に指定する議案が賛成多数で可決したにもかかわらず、平成28年3月第8回定例会中の3月10日の一般質問で「指定管理そのものを取り消してもらった方がいい」などという発言をした。

このことは町政及び議会の秩序を著しく乱す行為であり、また議会運営委員会から指定管理者については可決されたものであるため、一般質問は取り消すべきとの指摘・申し合わせがありながら従わなかった行動は問題である。

今後、町政や議会に与える影響を鑑み、一定の意思決定をつけなければさらに混乱を招くものである。

資格審査特別委員会は、3月議会中に結審しなかったため、閉会中の継続審議となった。

